

ほっぷ
すてっぷ

じゃ **JA** んぷ



特集

第23回
通常総代会



味わいあふれる旬のイチゴ

「食農立国JAいわて中央」を支える生産者の思いをつなぐコーナー

3世代でイチゴ栽培 品質維持のこだわり

5月下旬、ビニールハウスの中で赤く実ったイチゴが収穫期を迎えていた。フルーツのなかでも老若男女問わず人気なイチゴは、管内でも露地やビニールハウスで栽培されている。

盛岡市でイチゴの栽培に取り組んでいる堀間聡さん。家は40年以上続くイチゴ農家だ。「子どもの頃は、朝学校に行く前も学校から帰ってくる時間になっても家族がイチゴのパック詰めをしていました。その光景は今でもよく覚えていいます」と微笑みながら、当時を懐かしむ聡さん。母・幸子さんの希望で始めた堀間家のイチゴ栽培は、祖母と母、そして聡



1. ハウス5棟、計20aでイチゴを栽培する聡さん。品種は「北の輝」と「夏の輝」、今季から始めた「そよかの」の3品種を栽培している
2. 聡さんの育苗ハウスでは、ポットを階段のように並べて行う「ナイアガラ方式」を採用。上の段の親株から伸びるランナーを下へと伸ばし、その先端から出る芽を切り離して下の段のポットに根付かせることで、育苗を行っている
3. 収穫の際には茎部分を包むようにして摘み取り、出荷するまで果実に触れる回数をできるだけ減らすことで品質を維持している
4. 地元産直や洋菓子店にもイチゴを出荷している聡さん。果実の形や大きさなどを見ながら一つひとつ丁寧に選果し、出荷資材に詰めていく



さんの3世代でつないでいる。

聡さんのイチゴ栽培は、6月8月の苗作りに始まり、9月に定植。冬を越して翌年の4月中旬から6月にかけて収穫を行っている。果実がデリケータなイチゴは、温度変化によって品質が左右されやすく、高温になるほどやわらかく傷みやすい状態になってしまうため、朝と夕方の2回、比較的涼しい時間に収穫を行い、品質を維持している。また形の良いおいしいイチゴを作るためには、水管理やミツバチによる受粉作業なども要となる。特に水管理は、多すぎても味がのらなかつたり、少ないと苦味

や酸味を感じるような味わいになるため、温度や湿度、葉の状態などを確認しながら適期に行うことを心掛けているという。聡さんは「収穫は1年に一度のこと。こう改善したいと思っても次のチャンスがくるのは次の年になるので、毎年試行錯誤しています」と栽培の難しさを話す。

J Aや地元産直などにも出荷している聡さん。リピーターも多く、消費者の反応が栽培のやりがいにつながっていると話す。「身近では、8歳の息子もよく食べますね。自分の子に限らず、『おいしいからイチゴを作ってみよう』と子どもたち

ちに思ってもらえたら嬉しいです」と地域農業の未来に期待を込めている。

祖母は「栽培の師匠」 技術を受け継いで

関東の花屋に勤め、14年前地元に戻り農業を始めた聡さん。自ら農家を訪ね歩いて知識を習得しながら、リンゴやネギなどの新しい品目の栽培にも挑戦してきた。そのな

かで、聡さんが時折語るのは、昨年亡くなった祖母の存在だ。「祖母はほとんど毎日ハウスに様子を見に来るほど、誰よりもイチゴを可愛がっていました」とその偉大さを話しながら、「祖母の意思を継いで、技術面でも超えていきたい」と力を磨いていきたいです」と

意欲を見せる聡さん。今後について、「花も好きなので、リンゴ畑を増やしていくことも夢です」と次なる挑戦に向け、笑顔を見せた。

今月の表紙

ほりま さとし
堀間 聡さん (41)
さるだて しんご
猿舘 真吾さん (表紙右・41)

盛岡市でイチゴやリンゴ、リンゴなどを栽培する専門農家。趣味は漫画を読むこと。小学校からの幼馴染である猿舘さんとともにイチゴ栽培に取り組んでいる



目次 CONTENTS

未来へつなぐ食農立国	2
堀間 聡さん(盛岡市)	
特集	4
第23回通常総代会	
NewsFile	8
盛岡市立飯岡小学校 児童らが手植えに挑戦! 他	
営農情報	10
分けつ期から幼穂形成期の管理について 他	
SNSで岩手のお米の魅力を発信しよう! 岩手のお米アンバサダーキャンペーン ...	12
サン・フレッシュ都南さ おでつてくなんせ! まちのスマイル	13
インフォメーション	14
【新企画】サン・フレッシュ都南直送! 季節の野菜詰め合わせお楽しみBOX 他	
今月のレシピ	16
アスパラガスの豚肉巻き揚げ出し風	



特集

第23回通常総代会

J Aは5月27日、矢巾町文化会館「田園ホール」で第23回通常総代会を開催しました。総代638人（うち、本人出席175人、委任状出席1人、書面出席331人）が出席し、令和3年度事業報告及び剰余金処分案の承認、令和4年度事業計画の設定など全8議案が審議され、全て原案通り可決されました。

また、今年度は、第八次中期3カ年計画及び農業振興計画の初年度となります。J Aいわて中央では、「食農立国」J Aいわて中央ブランドのさらなる普及拡大による「持続可能な地域農業の確立」や「より豊かでくらしやすい地域共生社会の確立」を目指し、取り組んでまいります。

新生 — 新たな時代とともに —

開会にあたり浅沼清一組合長は「農業・J Aを取り巻く情勢は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や急激な円安により、肥料や飼料、燃料等の価格が上昇、加えて水田活用直接支払交付金の見直しにより、農家は大きな負担を強いられている状況にある」と話し、「農業は国民の命を守る食料生産を一手に引き受ける重要な産業。この度の現状を鑑みると、国民に対する食料安全保障は危機的状況にあり、政府は食料の安全・安心と安定供給の

ため、今こそ農業政策を強化し、食料生産について重要視すべきと考える」と強調。また、今年1月1日からJ Aに適用が開始された早期警戒制度について、「この制度が求める経営の安定化に的確に対応するとともに、さらなる農業振興と豊かな暮らしを築くため、組合員の皆様の要望にこたえるべく、役員一体となって改善・改革に鋭意努力していく」とあいさつしました。

来賓祝辞の後に、佐々木雅博専務が総代会の成立を報告。議長団には、

提出議案

- ◆ 第1号議案
定款の一部変更について
- ◆ 第2号議案
定款附属書総代選挙規程の一部変更について
- ◆ 第3号議案
令和3年度(第23年度)事業報告及び剰余金処分案の承認について
- ◆ 第4号議案
「第八次中期3カ年計画」の設定について
- ◆ 第5号議案
令和4年度(第24年度)事業計画の設定について
- ◆ 第6号議案
令和4年度経費の賦課及び徴収方法の決定について
- ◆ 第7号議案
令和4年度理事に支払う報酬の額の決定について
- ◆ 第8号議案
令和4年度監事に支払う報酬の額の決定について

岡市充司さん(紫波地域)、橘誠さん(矢巾地域)、兼平哲哉さん(盛岡地域)の3人が選出され議事進行に入り、提出された8議案全てが原案通り可決されました。令和3年度の事業利益は4億5608万円を計上。当期末処分剰余金は7億4288万円、経営の健全性を示す単体自己資本比率は12・14%となりました。

JAいわて中央公式YouTubeチャンネルでは、
第23回通常総代会提出議案説明
【ダイジェスト版】を公開しています



視聴はこちら



主な質問と回答

Q 総代の定数について変更前の定数が報告されたが、総代会出席者の報告では総代数638人と報告していた。すでに総代数が定数に足りていないことになるが、その定数に足りていない理由は何か。

A 現総代の選任時に650人で選任いただいておりますが、この任期3年の期間内に様々な理由で定数から減っており、その後の補充も行われていないことから、現在の638名となっています。

Q これまでは、コンビニエンスストアへの販売もあったが、今後はどのような方向で直接販売米に向いているのか伺いたい。
そしてお願いになるが、去年の米価が過去と比べて半分になっている。役員の方には各行政や団体への支援や対応の働きかけをお願いしたい。

A 直接販売米について、当JAではコンビニエンスストア等に米飯を供給する会社等に販売しています。

管内の米は非常に評判が良くそれぞれから引き合いがあり、「銀河のしずく」についても拡大傾向にある状況です。今後も直接販売にかかるリスクを検証しながら、進めてまいります。米価の下落に加え、燃油や肥料、飼料等が高騰していますが、販売や生産供給の仕方にも考えながら、生産者手取りやコストの引き下げの面も取り組みを進めたいと考えています。

また、昨年はリンゴの凍霜被害や米価の下落に対し、リンゴの薬剤散布代や米の出荷経費にかかるご支援をいただきました。今後も様々な課題に対して行政や関係団体と連携し、対策をまいります。





組合員懇談会 各地で開催

JAでは第23回通常総代会に先立ち、4月19日から22日にかけて、のべ6会場で総代・組合員懇談会を開催しました。懇談会での質疑の内容や書面において、組合員の皆さまからいただいた質問・意見を抜粋してご報告します。

「銀河のしずく」作付転換について

太田・厨川会場

質問

「銀河のしずく」へ転換した場合、農業所得はどのくらい増大が見込まれるのか。

回答

「銀河のしずく」の販売については、「ひとめぼれ」より400円程度高値で販売したいと考えています。販売先との継続的な安定取引の拡大などで、所得の向上につなげてまいります。

矢巾会場

質問

農業振興計画の重点取組事項および地域農業振興計画のなかで、JAが「銀河のしずく」を推進(拡大)しようとする背景、理由、および農家のメリットについて、地域内の農家に十分理解してもらいたい。改めて農家へ説明の機会を設けて頂くようお願いする。

回答

- 1 岩手県オリジナル品種の「銀河のしずく」を売り込むことにより、他県産米より高単価を狙います。「銀河のしずく」は4年連続特A評価で、実需からの引き合いも強くなっています。詳細につきましては、6~7月に各地域で開催する「銀河のしずく」作付にかかる説明会でご説明いたします。
- 2 慣行栽培での取り組みとなるため、肥料・農薬の選択肢が広がります。
- 3 比較的分けつ数が少ないため、①60株以上で植えること・②タンパク仕分けされるので多肥栽培は避けることに留意してください。
- 4 結びつきのある実需などの特定先へ、今後も出荷していきます。

- 1 JAが「銀河のしずく」を推進する背景と理由について
- 2 「銀河のしずく」を作付する場合の具体的な農家のメリットについて
- 3 「銀河のしずく」の生育(栽培)の特性(「ひとめぼれ」との違いなど)について
- 4 「ひとめぼれ」(特栽米)の今後の販売について

申告関係について

赤石・東部会場

意見

農家の方が農業簿記ソフト(ソリマチ)を導入して青色申告を行うことができるよう、パソコンをお世話してもらいたい。まだまだ白色申告の方がいて、意識が低いと思われる。

回答

JAでは、パソコン、農業簿記ソフト(ソリマチ)を取り扱っておりますので、各グリーンセンターまでお問い合わせをお願いいたします。JA農業青色申告会では、将来青色申告に取り組む方も会員としており、順次青色申告への誘導を図っているところです。青色申告者は全体の約7割であり、直近3年間で1割程度増加し、青色申告への移行が順調に進んでおります。

農業経営について

太田・厨川会場

意見

組合長の挨拶の中で、豊かな暮らしの実現に向け取り組んでいくという内容だった。農家としては、豊かな暮らしに程遠い農業経営である。

回答

豊かな暮らしの実現に向けては、農業の多様な担い手(大規模組織経営体・家族経営体など)が活躍できるようにマスタープランの作成のため、行政と連携して話し合いの場を作り、農を通じて豊かなコミュニケーションづくりを目指します。



解説

第1号議案 定款の一部変更について

役員定数および総代定数の変更

① 役員定数の変更

経営の高度化対応が求められており、機動性のある運営体制を整備し少数精鋭の役員体制を構築するものです。

理事 **現行** 22人以上24人以内 ➡ **変更後** 15人以上18人以内

監事 **現行** 6人以上7人以内 ➡ **変更後** 4人以上5人以内

② 総代定数の変更

総代定数 **現行** 650人 ➡ **変更後** 520人

これまでの総代定数650人は平成20年に設定しており、当時の正組合員数は12,356人でした。令和2年度末の正組合員数は9,510人で、昨今の正組合員数の減少を勘案し、平成20年当時の総代1人当たり約19人の割合に近づけて、総代定数を520名と設定しました。

総代定数の変更により、正組合員数減少に伴い地域からの総代選出が難しくなっている状況の解消を図ります。

各地域の現行と変更後の総代数

地域名	現行総代数	変更後総代数
日 詰	7	5
古 館	21	14
水 分	32	27
志 和	56	54
赤 石	36	31
彦 部	18	14
東 部	9	7
佐比内	21	15
赤 沢	24	17
長 岡	24	20
紫波地域計	248	204

地域名	現行総代数	変更後総代数
徳 田	46	33
煙 山	56	53
不 動	40	40
矢巾地域計	142	126
飯 岡	62	49
見 前	33	20
都南乙部	35	24
都南地域計	130	93
本 宮	25	16
太 田	52	41
盛岡東	31	24
厨 川	22	16
盛岡地域計	130	97
合計	650	520



盛岡市立飯岡小学校 児童らが手植えに挑戦!



田植えをする児童ら

盛岡市立飯岡小学校の5年生60人は5月23日、JAの浅沼清一組合長らの水田6aで、もち米「ヒメノモチ」の田植え作業を体験しました。毎年、同校では5年生の総合的な学習の一環として、田植えや稲刈り、脱穀体験などを行っています。

児童らは浅沼組合長やJA担当者らの指導のもと、手植えに挑戦。参加した児童は「手で植えるのは難しかったけれど、田植えができて楽しかった」と振り返り、浅沼組合長は「通学時などに田んぼの近くを通った際には、お米の生長を確認してほしい」と呼び掛けました。

用水路に転落した女兒を救助



佐々木秀彦職員 人命救助で感謝状



浅沼組合長に報告をした佐々木職員

盛岡市の農業用水路で5月7日に発生した転落事故で、女兒の救助にあたった盛岡市の館澤幸一さんと佐々木秀彦職員(盛岡地域営農センター所長代理)へ岩手県警盛岡東警察署から感謝状が贈られました。

26日には佐々木職員が浅沼組合長のもとを訪れ、受彰を報告。佐々木職員は「何より女兒が助かったことが一番」と安堵の表情を浮かべ、浅沼組合長は「緊迫した状況での的確な判断が一人の命を救ったのだと思う」と勇気ある行動を称えました。

作業管理の要点を確認



JAりんご部会 女性講座を開催



摘果作業の要点を確認する生産者ら

JAりんご部会は5月19日、管内7会場で初心者女性講座を開きました。

矢巾町煙山の園地で開いた講座には、生産者や盛岡農業改良普及センターの担当者ら9人が参加。摘果作業の進め方や今後の管理の要点について作業の実演を交えながら確認し、JA担当者は「皆で栽培について情報共有しながら、収穫まで大事に育ててほしい」と話しました。JAでは、栽培管理の知識を深めてもらおうと、女性生産者を対象とした講座を年に一度開催しています。

管内から約80頭が入牧

12 つくる責任
つかり責任

区界牧野
放牧受け入れ開始



牧草を食みながらのびのびと過ごす牛

盛岡市営の区界牧野では、5月上旬から短角牛と黒毛和種の入牧が始まりました。17日には短角牛約50頭、23日には黒毛和種約30頭の山上げが行われ、トラックで各地から運び込まれた牛は健康状態などを確認した後、青々とした草地に放たれました。

牛の放牧は、体力づくりや繁殖、農家の労働負担軽減などを目的に行っているもので、今年は10月20日頃までを予定しています。草地を元気に駆け回る牛の様子を見守っていた農家は「けがや事故なく、元気な姿で帰ってきてほしい」と話しました。

計画的な作業を呼び掛け

12 つくる責任
つかり責任

小・中粒種ブドウ指導会
紫波町各地で開催



説明を聞く生産者ら

JAは5月11日、紫波町内5ヵ所の園地で小・中粒種ブドウの指導会を開き、芽かきの手順や新梢の管理、病害虫防除などについて確認しました。

紫波町赤沢の園地で開いた指導会には生産者ら24人が参加。生育についてJA担当者は、平均気温が高い予報が続き、開花も早まることが予想されるため、遅れずに作業を進めることを説明。また開花前の作業について、樹勢の強弱や生育進度を見ながら芽かきや新梢の誘引を適期に行うことなども確認しました。JAは今年度、ブドウ全体で640tの出荷を計画しています。

4 質の高い教育を
みんなに

親子でお米づくり!

ちゃぐりんスクールバケツ稲体験



土づくりや苗植えを体験する参加者ら

JAは5月14日、紫波支所で令和4年度1回目のちゃぐりんスクールを開きました。管内の小学1～3年生の児童と保護者19組56人が参加し、JA青年部やJA担当者らの指導のもとバケツ稲づくりを体験しました。

参加者は初めに、青年部の高橋徹委員長から今と昔の米づくりの違いなどについて説明を聞いた後、各家庭1つずつのバケツを使って土づくり。最後に県ブランド米「銀河のしずく」の苗を一つひとつ丁寧に植え、完成させました。参加した親子は「本格的な体験で勉強になった。生長が楽しみ」と笑顔を見せました。

米穀

分けつ期から幼穂形成期の管理について

今月の担当

盛岡地域営農センター 盛岡営農推進課
米穀グループ 高山友輝



1. 分けつ期(6月上~下旬)の水管理

田植え後の苗(4葉期以降)は、茎が徐々に枝分かれします。これを分けつと言います。

この時期の水管理は、圃場の水温や地温を高めるために浅水管理(水深5cm程度)をし、強風や低温時は深水管理(水深10cm程度)で苗を保護します。

生わらや堆肥施用田では、気温上昇とともにカナ(表層剥離・藻類)やガス湧きが発生しやすくなり生育が抑制されます。短期間で水の入替えを行い、生育障害を防ぎましょう。

2. 中干し

(6月下旬~7月上旬)

中干しは、根の伸長促進や

品種名	6月下旬の目標茎数 (60株/坪)
れちくぼめ くりまのこ あき河の とんび	25~30本
チ人 モ美 ノち ヒも	20~25本

【表1】 品種ごとの目標茎数

無効分けつ(穂にならない茎の発生を抑える作業です。目標茎数【表1】を確保したら田面から全部水を落とし、田面に小さな亀裂ができ、軽く足で踏んで跡がつく程度に7~10日間乾燥させます。

その後は、間断かん水を行いゆっくり入水します。急に入水すると根が弱まるので、徐々に入れましょう。

溝切りを行うと中干しの効果をより高めます。

3. 中期除草剤

一発除草剤で雑草を取りこぼした場合は、雑草の種類に応じて中期除草剤を散布します【表2】。ただし、特別栽培ではバサグラン以外の使用はできないので、中期除草剤を使用する場合は最寄りの営農センターまでご相談下さい。

薬剤名	適用雑草
クリンチャー	ノビエ
バサグラン	ホタルイ、シズイ、クログワイ
クリンチャーバス	ノビエ、ホタルイ、シズイ、クログワイ
ザーベックス	
レブラス	

【表2】 主な中期除草剤

4. 葉いもち予察

葉いもちは6月中旬頃から発生し、日照不足や降雨等により発病率が高まりま

す。昨年いもち病が発生した圃場や葉色が濃く生育が旺盛な圃場は、こまめに観察しましょう。

発生を確認した場合や発生が疑わしい場合は、最寄りの営農センターへご相談下さい。

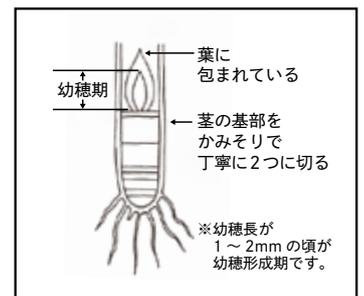


【写真】 葉いもち 発生

5. 幼穂形成期

(7月上~中旬)の管理

幼穂形成期【図1】は常時4~6cmの湛水状態にしますが、低温にあたりると稲が形成されない障害不稔が起きやすいため、低温予想時には深水管理で茎の中の幼穂を保護しましょう。



【図1】 幼穂形成期の見方

紫波地域農業気象協議会から 気象情報ホームページのお知らせ

紫波地域農業気象協議会では気象観測ロボット施設を活用し、紫波地域の気象観測データや気象庁発表の降水量予測などの情報をリアルタイムで提供しています。

気象情報ホームページURL <http://www.shiwa-tenki.jp/>

※スマートフォンからもご覧いただけますので、ぜひご活用ください。

アクセスはこちら



園芸

今月の担当

紫波地域営農センター
園芸特産課 福島 溪太

ズッキーニの栽培管理と
新規生産者の募集について



6月上旬になり、管内ではズッキーニの定植が始まっています。次の内容に注意して、栽培管理を行いましょう。

1. 定植後の管理

定植後は、活着するまでの間、午前中に株元手かん水を行い、その後も干ばつ時は2〜3日おきにかん水を実施します。わき芽は大きくなる前に取り、最初の雌花は2〜3花摘み取って、株の充実を図ります。

受粉について、訪花昆虫でも自然交配しますが、果形の良いものを収穫するために人工授粉を行いましょう。未受粉果は大きくなる前に摘果し、樹勢の維持に努めましょう。

2. 新規生産者募集中!

管内では令和4年6月現在、約29ha、約90人の生産者でズッキーニの栽培を行っています。他品目より初期投資が少なく管理も比較的簡単なため、毎年新規生産者が増えている品目です。今年度JAでは販売額1億5千万円を目指し取り組んでおりますので、興味のある方はお気軽にお近くの園芸特産課までお声掛け下さい。



あなたも始めてみませんか? ズッキーニ栽培のおすすめポイント

初期投資が少ない

栽培に必要なものは種、肥料、マルチなどの資材のみで、専用の機械等は必要ありません。初期投資を最低限に抑えることができ、播種後約1ヵ月で収穫ができるため、取り組みやすい品目です。



作業性が良い

株間が約80cmで畝幅が約90〜120cmのため作業がしやすく、出荷段ボールも2kg・4kg詰めと軽量のため、女性や年配の方でも収穫作業がしやすいと好評です。



初心者でも安心

専門的な栽培技術は不要。栽培指導会や目揃え会では管理作業や出荷規格について一から学ぶことができるため、安心して始めていただけます。



基本の栽培スケジュール 今年度の栽培は始まっていますが、直播きでの栽培はまだ間に合います! ※最終播種は8月5日まで

作型	5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
①セル苗	播種	定植		収穫														
②直播き				播種			収穫											
	直播きの場合、6月以降も順次作付け可能								播種									収穫

子牛市場情報 (令和4年5月19日・中央家畜市場)

地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比	地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
紫波	21	813,000	419,000	524,381	293	-22,932	紫波	20	701,000	409,000	531,700	313	-155,387
矢巾	7	657,000	446,000	533,571	296	-429	矢巾	7	659,000	460,000	573,429	328	-133,071
盛岡	8	735,000	431,000	538,250	287	15,028	盛岡	8	803,000	474,000	601,125	325	-59,542
JA計	36	813,000	419,000	529,250	292	-8,375	JA計	35	803,000	409,000	555,914	319	-129,111
市場計	137	1,390,000	303,000	568,708	295	24,685	市場計	197	974,000	251,000	602,157	329	-52,951

SNSで岩手のお米の魅力を発信しよう！ 岩手のお米アンバサダーキャンペーン

IWATE
RICE

岩手県産米のファン醸成のため インターネット（SNS）を活用し、 岩手県のお米をPRしてもらいました。

日本各地のアンバサダー※85名に

InstagramやTwitterで様々な投稿をしていただき、

およそ**17万人**に見てもらうことができました。※アンバサダー = 宣伝大使

#銀河のしずく #岩手のひとめぼれ #いわて純情米 で検索いただくと、過去の投稿をご覧いただけます。

令和3年
7月5日～
8月5日

SNS上で全国からアンバサダーを募集

令和3年
8月6日～
8月20日

応募者の中からアンバサダー85名を選考し、
投稿資材として県産米を贈呈

令和3年
8月23日～
9月30日

ハッシュタグ（#銀河のしずく、#岩手のひとめぼれ、#いわて純情米）を
付けて投稿

「いいね」数や投稿数の多かったアンバサダーにはさらに県産米を贈呈しました！





サン・フレッシュ都南さ

おでっくなんせ!



今月は

キュウリ

6月に入り、店内ではトマトやズッキーニなどの夏野菜が並び始めています。なかでもキュウリは、体内の塩分を排出する働きがあるカリウムを多く含むことからむくみの改善に効果があるほか、体を冷やす働きもあると言われ、これからの時期に積極的に摂りたい野菜の一つです。管内で盛んに栽培されているキュウリは、当店でもこれからの時期はたくさん取り揃えておりますので、ぜひお買い求めください。

イベント情報

最新情報はホームページやSNSをご覧ください

ハンバーグまつり

6月18日(土)・19日(日)



これから旬を迎えるキュウリ。「もろきゅう」などで豪快にバリッと味わうのが最高ですね

サン・フレッシュ都南

住所 〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡21-180
TEL 019-637-6801
営業時間 9:00~18:00

Twitter



小枝店長



まちのスマイル

Vol. 09

紫波町・南日詰

照井 始さん(71)・和子さん(70)のお宅

て り い ま ゆ

左 照井 真侑 ちゃん(7)

れ お

右 怜雄 くん(4)

運動会に向けて玉入れやリレーの練習を頑張っていると話してくれた小学2年生の真侑ちゃん。お家では自転車に乗ったりケーキ作りをしたりと、色んな事に挑戦しています。おじいちゃんが好きで、農作業にはいつも一緒について行くという弟の怜雄くん。「好きな食べ物はお肉!」と目を輝かせながら、田植えの終わりや夏に家族でバーベキューをするのが楽しみと笑顔を見せます。

撮影中も元気いっぱいな真侑ちゃんと怜雄くんを優しく見守る笑顔の絶えない照井家。おじいちゃんやお母さんは「これからも二人仲良く、素直で優しい子に育ててほしいです」と期待を込めています。

(撮影地:紫波町五郎沼)

二重マスの文字をA～Eの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法

郵便はがきにクイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢、今月のテーマにまつわる話・誌面の感想をご記入の上、下記宛にお送りください。正解者の中から抽選で、JAやサン・フレッシュ都南で使える「農協全国商品券500円分」を5名様にプレゼント！

今月のテーマ

新しい趣味

応募締切 6月28日 必着

送り先

〒028-3453 紫波町土館字沖田98-20
JAいわて中央
「JAんぷ6月号お楽しみクイズ」係

＼コチラから／



ホームページ

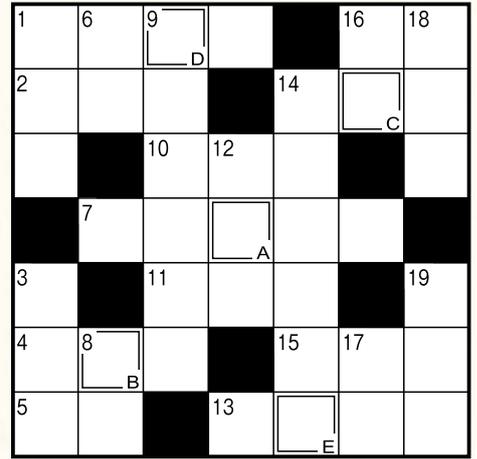
広報誌応募フォームにて受付 ▶

E-mail

kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp

※ご記入いただいた個人情報、お便りコーナーへの掲載、並びにプレゼントの発送にのみ使用いたします。当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

5月号の答え
「エメラルド」



→ヨコの力ギ

- ① 虹の七色の一つ。赤の隣です
- ② 役者が立つ所
- ④ アメリカに行くことを漢字で表すと
- ⑤ とげに覆われた海の幸
- ⑦ 「佐藤錦」「ナポレオン」などの品種があります
- ⑩ 出番前の出演者が支度をする場所
- ⑪ ジョン・ウェインやゲイリー・クーパーは——劇で活躍しました
- ⑬ 賞とともに呼ばれます
- ⑭ 多くの星が集まってできています
- ⑮ おなかの上で貝を割る動物
- ⑯ 生産量日本一は長崎県。特に茂木の物が知られている果物

↓タテの力ギ

- ① 1人用がシングルなら2人用は
- ③ 作物のテンサイは、——ダイコンとも呼びます
- ⑥ かまぼこの土台にします
- ⑧ 唇に差す物
- ⑨ 最高学府に通う人々
- ⑫ 2022の百の——の数字は0です
- ⑭ 賭博師、ばくち打ちのこと
- ⑯ ビールやジャムを詰めます
- ⑰ ——サラダ、——サンド、——マヨネーズ
- ⑱ 大福とかようかんとか。
水無月(みなづき)というのもあります
- ⑲ いろいろな具をトルティーヤで挟んで作ります

テーマ 旅行したい場所

皆様からのお便りをご紹介します！



大阪に行ってみたいです。東北とは違いにぎやかな感じなので、街を歩いたり、通天閣などを生で見てみたいと思います。

(南伝法寺・S/62歳)

大阪は観光名所だけでなく、おいしいご当地グルメもたくさんあるので、一度は訪れてみたい場所ですね！

コロナ流行前に、三陸鉄道で久慈～宮古を旅する計画を立てていました。この夏に実行したいです。

(盛岡駅前・O/69歳)

鉄道から望む景色はきっと格別なんでしょうね。今年こそ実現できますように！

北海道です。昔、修学旅行で行った夜景や五稜郭、函館の朝市など、昔を思い出しながら旅をしたいです。

(東徳田・K/71歳)

記憶を辿りながらの旅。今と昔の変化を楽しんだり、一緒に行った友人の方と思い出話をしながら巡るのもいいかもしれませんね！

海外の南国リゾートホテル。ぼーっとしながら沈む夕日を眺めて、トロピカルドリンクやビールを流し込む。

(又兵衛新田・T/62歳)

私も南国リゾート地への旅は憧れます…。きれいな海を眺めながら、ゆったりとした時間を過ごしてみたいです。



理事会報告

5月定例理事会が5月24日、紫波支所で開かれ次の議案について決議されました。

【議決事項】

- 1 個人情報保護方針の一部改正
- 2 個人情報取扱規程の一部改正
- 3 特定個人情報取扱規程の一部改正

- 4 令和4年度信用の供与等の最高限度額の決定
- 5 行政庁に提出する業務報告書及び連結業務報告書

退職者

令和4年5月31日付で、次の方が退職されました。

今後のご健勝とご活躍を祈念いたします。()は前所属。

◆ 森田 洋介

(営農販売部盛岡地域
営農センター園芸特産課)



役員手帳

手取り最大化を目指した 多様な販売の展開を

常務理事 畠山 進

JAは昨年4月から、組合員の皆さまのご理解・ご協力をいただき、4つの地域に営農センターと支所を同一敷地内に配置した地域総合拠点体制にてJAの総合事業を展開しています。

今年度は、第八次農業振興計画策定の年にあたります。「食農立国」JAいわて中央”ブランドのさらなる普及拡大を通じて、メインテーマを『活力ある「地域農業・地域共生」の未来を創る』として持続可能な地域農業の確立を目指してまいります。

しかし現在、新型コロナウイルスの影響による米・牛肉等の需要減に加え、ウクライナ情勢による生産資材のさらなる高騰の見通しなどにより、農業を取り巻く環境は危機的な状況となっています。この危機に対して、持続可能な農業・地域づくりに向けたJAグループとしての政策提案を展開しているところです。国の政策・対策に対して、速やかに対応してまいります。

当JAでは今後も、農畜産物の販売強化として、実需者との結び付きを強化していくとともに、多様な販売手法を取り入れた生産者手取りの最大化を重視した販売に取り組んでまいります。

INFORMATION

新企画 サン・フレッシュ都南直送!

季節の野菜詰め合わせ お楽しみBOX

発送日の朝に出荷された新鮮で安心・安全な旬の野菜をお届けします。ご自宅用だけでなく、離れて暮らすご家族などにもぜひご利用ください。



価格 2,000円(税込・送料別)

※写真はイメージです。実際の商品とは異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※商品はクール便での発送となります。

お申し込み

専用の申込書に必要事項を記入の上、生活推進課または各地域営農センター、支所窓口までご提出ください。

※申込書は6月9日付文書配布にてお配りしているほか、各地域営農センターにも設置しております。

締切

令和4年6月24日(金)必着

※7月11日(月)から順次発送予定ですが、配送状況により変更となる場合がございます。
※配達日のご指定はできません。

お申し込み・お問い合わせ 生活推進部 生活推進課 ☎673-7469

JAバンク岩手よりお知らせ サマーキャンペーン2022

キャンペーン期間 令和4年6月1日(水)~7月29日(金)

期間中、定期貯金・定期積金をご成約いただいた方に、
先着で下記の条件ごとにプレゼント!

① 30万円以上の新規または増額契約
よりぞうステンレスカップ2Pセット



② 20万円以上の新規または増額契約
よりぞう大容量折りたたみ保冷バッグ



③ 10万円以上の新規または増額契約
よりぞうデニム風保冷ランチバッグ



さらに!

JAネットバンク限定
定期貯金の特別な金利上乘せも
店頭金利 + 年0.05%

詳しくはこちら



ご相談はお近くのJA支所窓口・渉外担当者までお問い合わせください

新鮮食材で
楽しくクッキング
— This month's recipe —
今月のレシピ
134杯目



アスパラガスの豚肉巻き揚げ出し風

材料 (4人分)

- 豚ばら肉..... 200g
- アスパラガス..... 8本
- 天ぷら粉 (市販)..... 適宜
- 薄力粉..... 適宜
- サラダ油..... 適宜
- 大根おろし..... 大さじ3
- おろしショウガ..... 小さじ1
- かい割れダイコン..... 適宜

- 天つゆ**
- 水..... 50ml
 - しょうゆ..... 小さじ2
 - みりん... 小さじ2
 - だしのもと... 小さじ1/2

作り方

- ① 天ぷら粉は水を入れ溶いておく
- ② アスパラガスの下半分の堅い皮をピーラーでむき、4本ずつまとめて豚ばら肉で巻き、薄力粉を薄く付ける
- ③ ②を半分に切り①の天ぷら衣にくぐらせ、180度に熱した油で3～4分ほど揚げる
- ④ ③を器に盛り付け上に大根おろし、おろしショウガをのせ、鍋で沸かした天つゆをかけ、かい割れダイコンを添えて出来上がり

編集後記



渡邊

先日、県下JAグループの広報担当者会議に出席してきました。私たちは普段、一人で取材に出掛けることがほとんどのため不安になる場面も少なくないのですが、意見交換の時間には担当者間で取材時の心構えなどをアドバイスし合い、とても学ぶことの多い研修会でした。広報担当になり3年目、今後もスキルアップを図っていきたいと思います！



佐々木

私にとって田植え体験の取材は毎年の恒例行事ですが、子どもたちにとっては全てが初めての体験。田んぼの感触に戸惑いながらも、泥まみれになりながら一生懸命に作業をする姿が印象的でした。取材後に「田植えができて楽しかった!」と声を掛けてくれた子の笑顔に、その時間の全てが詰まっていたような気がします。